

令和7年度 第3回あきる野市地域包括支援センター運営協議会議事録

日時：令和8年3月25日（水）午後7時から

場所：あきる野市役所5階503会議室

1 開会

事務局（市） それでは、少し時間より早いですが、全員お揃いですので、令和7年度第3回あきる野市地域包括支援センター運営協議会を開会いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。議事に入るまで進行を務めさせていただきます。高齢者支援課長の水葉でございます。よろしくお願いします。なお、本日、日下部委員より欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。また、会議録作成のため、会議中は録音させていただいております。それでは、次第に沿いまして、進めさせていただきます。次第2、会長挨拶でございます。米山会長よろしくお願いします。

2 会長挨拶

会 長 国内の感染症も減りまして、新型コロナウイルスもたまにといった状況になっております。今回の検診開始は5月からで、休める時期ではありますが、それに備える大変な時期でもあると思います。色々ご意見をよろしくお願いします。

事務局（市） 会長ありがとうございました。それでは、協議事項に入ります。本会議は公開することとしております。傍聴を認めていただけますでしょうか。

委 員 —異議なし—

事務局（市） 本日は傍聴1人となっておりますので入室していただきます。

—傍聴者入室—

議題に入る前ですが、資料の差し替えがございますので、差し替えた資料で本日進めさせていただきます。続きまして、包括的支援体制の整備につきまして、事務局から説明させていただきます。

—事務局説明—

それでは議題に移らせていただきます。ここからの進行につきましては、設置要綱

第9条第2項に基づきまして、会長をお願いいたします。

3 協議事項

会 長 それでは次第3、協議事項に入ります。（1）令和7年度事業報告及び自己評価結果について、事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

会 長 委員の皆様から何かご質問ございますか。

委 員 まず、三つのセンターの実績報告のところで、委託法人が変わっているということなので、前年度までと比較して検討する必要があると思います。相談件数で、五日市はつらつセンターの相談件数が非常に減少していて、令和5年度は約1,700件あったが、今回は半減している。これについてどのように分析しているのか教えてください。関連して、相談者の区分で行政の比率が増えている一方で家族関係が非常に減っている。これは行政の手が届いてスムーズにつながっているという良い面もあるかもしれないが、逆に本人や家族と地域包括支援センターとの距離が広がった可能性もあるのではないかと。あと、相談内容について、五日市はつらつセンターで大きな数的変化をどのように分析しているか教えていただきたい。

事務局（包括） 今年度から五日市はつらつセンターを受託しており、前年度比がどうなのかは私も分からない部分があります。カウントの仕方等が変わっている可能性もあり、その都度指導いただくようにしているため、数字の違いはその辺りに起因しているかもしれないと感じています。相談内容については大きく変わっているかはわからないので、来年度に向けて細かく確認して進めていきたいと思っています。

委 員 ありがとうございます。新しい体制だと大変なこともあると思いますが、市としてはどう理解しているのか。相談を何回もかけたり、問題が解決して相談が減ったパターン、受託体制や担当者の変化で対応の仕方が変わった可能性、あるいはカウントの仕方の違いなど、いくつかの要因が考えられる。市の理解はどうでしょうか。

事務局（市） おっしゃるとおりで、相談の内容や地域の状況、受託法人が変わったことなど様々な要因が考えられます。ご指摘の相談件数につきましては、電話番号が変わったことも要因と考えています。受託法人による広報や周知も進めてきましたが、本報告

は12月末時点のため、1月～3月の状況も併せて次回のあきる野市地域包括支援センター運営協議会で報告・分析したいと思います。

また補足として、今回、五日市地区だけではなく三センターの相談者区分や相談内容の延べ数の考え方に一定の課題があると感じていますので、集計方法に修正を加えたいと考えております。後ほどご説明します。

委員 このような形での評価は、今年からだと思うので読み取りにくい点もあると思います。まず伺いたいのは、考察で市との連携、地域連携の弱さが指摘されている点についてです。連携がうまくいかない場合は市側に原因がある場合、センター側に原因がある場合、あるいは双方に原因がある場合が考えられますが、市はどのように見ているのでしょうか。もう一つは、地域包括支援センターの課題である資料1－2の②、③というところは本当に重要で、これの公表のされ方が重要かなと思いました。

事務局（市） ご質問ありがとうございます。今回、新しく国の評価指標が示され、初めての自己評価となりました。資料をご覧くださいと市町村別のレーダーチャートやセンター評価指標があります。今回の国の評価指標は、従来の指標で多くの自治体が達成していた状況から、プロセスを評価してできていないところを抽出する趣旨で改正されており、かなり厳しい評価指標となっています。そのため、当市の自己評価結果が国や都の平均と比較して低い結果になっております。

また、市町村別事業チェックシートの中には市町村の総合評価結果や評価分野別評価結果をもとにセンター機能を強化する取組の見直しを行っているかという項目があり、今回は、この分析結果をあきる野市地域包括支援センター運営協議会で示して皆様にご審議いただいておりますが、昨年度までは行えていなかったため、×としております。今後、あきる野市地域包括支援センター運営協議会に諮りフィードバックを行い、各地域包括支援センターに戻していくプロセスが達成できれば、今回、弱くなってしまったところは達成できると考えています。

委員 全くそのとおりだと思います。×がついているからといって慌てて対応するのではなく、あきる野市としてどこに力を入れるかを明確にして段階的に改善していくことが大切です。項目を○にするために目先の対応をすると、地域包括支援センターのほうが振り回されてしまいますし、今回の評価の仕方は○か×かの評

価なので、来年度以降でどこに力を入れるかというのを市、地域包括支援センター、あきる野市地域包括支援センター運営協議会で明確にして、1つひとつ変えていくことが大事と考えます。

また、チェック項目の中には慌ててやるとかえって悪い影響が出るようなチェック項目があると思います。どのように評価するかなど実態に合わせた検討が必要です。

会長 ありがとうございます。他にございますか。では次に行きます。

(2) 令和8年度地域包括支援センター事業実績報告の見直しについてと評価について事務局からお願いします。

—事務局説明—

会長 ありがとうございます。何かご質問ございますか。

委員 集計項目を改善すると以前との比較が難しくなります。例えば現行の福祉サービスが、新しい区分では総合ケア、ケアマネ紹介、入所相談と細分化されていると思いますが、どの項目が細分化されたのか、新たに加えた項目、逆に削除した項目があるかを教えてください。数年経てば経過は見ることはできますが、まずは1年の両者を対照させて見られるようにしてほしいと思います。

事務局（市） 削除した項目はありません。どの項目が細分化されたのかについては、次回の事業報告の際に分かるようにいたします。

会長 他に何かございませんか。ありがとうございます。では(3)に行きます。令和8年度の地域包括支援センター事業運営方針（案）について事務局からお願いします。

—事務局説明—

会長 はい、ありがとうございます。何かご質問ございますか。

委員 今のご説明にあった第2層生活支援コーディネーターとの連携は大事な点だと思います。ただ、方針の中に唐突に入れるよりも、第2層の重要性を分かりやすく示すために別枠で明確にしたほうがよいのではないかと、連携がポイントなのか、コーディネーターが地域課題を把握するのが重点なのかを分けて書いた方が運用が分かりやすくなると思います。

会長 どうでしょうか。何か意見ありますか。

事務局（市） 補足します。右側の９の項目に日常生活圏域ごとに地域住民および関係機関からの相談に積極的に対応し、相談内容を精査し、日常生活圏域内の地域課題を把握するとあります。地域課題の把握は従来から重要な事項で、今回、相談内容を精査するという表現を変更して、第２層生活支援コーディネーターを活用して圏域内の課題を把握する趣旨で入れています。分けて書くメリットもありますし、現行のように重点項目を強化するという趣旨で書かせていただきましたが、いかがでしょうか。

委員 専門職に向けたものだからこれで良いのではないかな。もし、一般の方が読むことがなければ、短い文章が良いと思います。

事務局（市） 第２層生活支援コーディネーターについては、国や都、市の示し方も含めて制度上分かりにくい点があります。あきる野市の生活支援体制整備事業ということで、今年度生活支援コーディネーターが何をしてきたのかは、活動報告書にまとめております。今後、制度の趣旨説明やコーディネーターの活動報告ということで本市の取組については、ホームページでも公表していきたいと思っておりますので、こういった様々チャンネル使いながら、より第１層生活支援コーディネーターの理解をしていただきたいと思っておりますし、今回この活動方針では、地域包括支援センターに配置させていただいた趣旨は、地域包括支援センターと市で、一定程度、共有できると考えております。

委員 あきる野市地域包括支援センター運営協議会の委員には専門家でない方もいるので、文書はもっと読みやすく整理した方が良いと思います。表記の統一や漢字ひらがなの使い分けも整えてほしいです。次回には読みやすく整理されたものにしてほしいです。

事務局（市） 承知しました。

委員 市町村別事業チェックシートの評価項目のうち、市町村と地域包括支援センターの担当項目に関して伺います。特に地域包括ケアシステム構築・推進や組織運営体制の欄では、前年度の評価結果を踏まえてどのように改善したか、次回の重点項目をどのように設定したかが読み取れる必要があります。赤字で追記された箇所はその趣旨だと理解していますが、今回の資料では前回の評価で不足していた点への対応が不十分に見えます。これらを具体的に示していただければ、

従来は評価が×だった項目が○へと改善されたことが納得できると考えます。該当箇所について、前回の評価をもとにどう変更・追加したのかをご説明ください。

委員 ご意見ありがとうございます。ご指摘の赤字部分は、今回新たに加えた箇所です。事業運営方針については、あきる野市地域包括支援センター運営協議会でお諮りすることを評価項目に含めております。本資料は案の段階ですので、いただいた御意見も踏まえ、次回のあきる野市地域包括支援センター運営協議会で最終版として提示したいと考えております。地域包括支援センターと十分に協議の上で作成すべきと考えており、重点項目については、従来から設定してきましたが、適切性を検証し必要に応じて修正を加えています。説明が不足していた点については、より分かりやすく説明するよう努めます。

会長 それでは（４）地域密着型通所介護サービスの新設の事前協議について、説明をお願いします。

—事務局説明—

委員 事務局の定員比較の話に関連してですが、データとして他の介護保険サービスの稼働率や定員充足率の分析も重要ではないかと思います。もし可能なら国保連等のデータで取れるはずなので、次回以降こうした提案があった場合には稼働率等のデータも示していただけると判断材料として助かります。また資料４の１ページ目の整備マップと２ページ目の要支援・要介護者１人当たりの定員数の比較について確認ですが、今年度に通所リハビリテーションが通所介護に変更になった事業所があると聞いています。それがマップや箇所数、定員計に反映されているか確認させていただきたいです。

通所リハビリテーションが、西多摩地域というのは全国に比べて整備率はかなり高い。これは介護保険のサービス種別ごとの比率でいくと、一般的には、５対１から１０対１に近いぐらい、通所介護が多くて通所リハビリテーションが少ない。それがあきる野市の場合は、多分３年前ぐらいのデータだと、半々ぐらいで、通所リハビリテーションと通所介護の利用率が拮抗している。そういう意味では、通所介護の機能も通所リハビリテーションとして、通所系サービスとして担っているという考え方もできるかと思ひまして、そういう意味ではこの２ページ目のグラフで数字が入らない濃い緑色部分が、多分通所リハビリテーションで、

それを入れていくと東京都平均にほぼ拮抗するか若干上回るぐらいの数字になるかと思います。そういった意味で、充足率を見ていくとか、通所サービスのニーズを見ていくときには、機能の違いは実際にはあるはずなんですけれども、やはり通所リハビリテーションの整備の状況も含めて判断する必要があると思っています。ただ御提案があったりとか、実際には、こういった申出があったところで、今このデータだけをもって、必要ないということにはならないと思いますので、特に運営母体とか事業計画に問題がないのであれば、実際にはニーズがあるとは思ってますけれども、今後、そういった観点も見ていただけるとありがたいと思います。

事務局（市） ありがとうございます。まず稼働率については、現在把握しておりませんが、運営推進会議で定員数や稼働状況の把握はできると思いますので、今後データを集計してこの場で提供できるよう検討します。次に通所リハビリから通所介護に変わった事業所はマップに反映しており、4 か所から 5 か所に増えて表示しています。地図の表記も該当箇所を反映済みです。

委 員 資料の最後に指定に関する運営協議会に諮りが入っている件についてですが、当時の事情はどういうものだったのか、また、この協議会の権限としてどういう意見を出せばよいのか教えてください。なぜここに特別に諮りと明記されているのか、その事情を教えてください。

事務局（市） 介護保険法の中で被保険者等の意見を反映する必要性があり、地域密着型サービスの指定についてはあきる野市地域包括支援センター運営協議会で諮ることが所掌されています。ただし、地域密着型通所介護は計画の中で事業所数の総量を規制していないため、意見をいただく形になる点にご留意ください。

会 長 では次に、（５）令和８年度高齢者支援課の会議等年間スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

会 長 はい、ありがとうございます。何かご質問ありますか。

委 員 自己評価の形が変わったことで、以前は地域包括支援センターから自由記述欄で課題や今後の取組、支援の要望などが提出されていて、それはとても良かったと思います。今回はなくなってしまったので、来年度からでも包括支援センター

が自由に記載できる欄を設けてほしいです。あきる野市地域包括支援センター運営協議会の委員が支援できることもあるので、地域包括支援センターの自由記載（課題や要望）を出していただければあきる野市地域包括支援センター運営協議会として協力しやすい。可能か教えてください。

事務局（市） ご意見ありがとうございます。前回のご指摘は事務局で宿題として受け止めています。現在、自己評価は電算化されシステムで入力する形になっていますが、市町村独自項目として自由記述欄を入れられるような仕組みになっています。ご意見を踏まえ、令和8年度の自己評価では自由記述欄を設けられるように調整し、結果を報告します。よろしくお願いいたします。

会 長 よろしいでしょうか。質疑を終えましたので、協議事項については承認することとよろしいでしょうか。

—異議なし—

はい、ありがとうございます。では、次に参ります。

4 報告事項

会 長 続きまして、4の（1）第2層生活支援コーディネーターの活動報告です。事務局から説明をお願いいたします。

—事務局説明—

会 長 ありがとうございます。委員の皆様、何かご質問ございますか。よろしいですかこれで本日の議事を終了いたします。それでは進行を事務局にお返しします。

5 閉会

事務局（市） 会長、ありがとうございました。来年度の予定も今お話したとおりですが、このメンバーでの協議会は、任期が満了となります。2年間、協議会の委員を務めていただき誠にありがとうございました。今後とも市の高齢者福祉事業・行政にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。最後に副会長からご挨拶をいただければと思います。

副 会 長 皆さん、本日はお疲れさまでした。地域包括支援センターの運営の大変さがよく分かりました。高齢者が激増し、人材確保が難しい状況の中で、皆さんご自身の体調にも気を配りながら、これからもご活躍ください。私の親族も他県でサービスを受けており感謝しています。私もあと2年で後期高齢者となり、近い将来

お世話になるかもしれません。そのときは皆様の大変さを考慮し、感謝の気持ちでサービスを受けたいと思います。皆様お身体にお気をつけて頑張ってください。どうもありがとうございました。

事務局（市） 副会長、ありがとうございました。以上で第3回あきる野市地域包括支援センター運営協議会を閉会とします。ありがとうございました。